

福井県における死亡の現状について

(令和7年度)

福井県の死因究明体制

【法医の体制等(R8.3.1時点)】

- 法医解剖実施機関数・・・1件(福井大学)
- 常勤の法医数・・・2人

【解剖実施件数および死亡時画像診断実施率】

	年 (暦年)	警察取扱死体数											全国順位 (位)
		(A) (件)	うち解剖実施件数				解剖 実施率 (B/A) (%)	うち死亡 時画像診 断実施件 数 (C) (件)	死亡時画 像診断実 施率 (C/A) (%)	解剖又は 死亡時 画像診断 実施件数 (B+C) (件)	解剖又は 死亡時 画像診断 実施率 (B+C/A) (%)	人口10万 人あたりの 解剖又は 死亡時 画像診断 実施件数 (件)	
			(B) (件)	うち司法 解剖 (件)	うち調査 法解剖 (件)	うちその 他解剖 ※ (件)							
福井	R3	1,250	84	79	5	0	6.7%	264	21.1%	348	27.8%	45.3	8
	R4	1,369	129	117	12	0	9.4%	260	19.0%	389	28.4%	51.2	7
	R5	1,276	149	128	21	0	11.7%	337	26.4%	486	38.1%	64.6	4
	R6	1,321	110	84	26	0	8.3%	409	31.0%	519	39.3%	69.5	3
	R7	集計中											
全国	R3	177,077	18,533	8,864	3,211	6,458	10.5%	16,579	9.4%	35,112	19.8%	27.9	-
	R4	199,459	19,343	9,551	3,285	6,507	9.7%	18,275	9.2%	37,618	18.9%	30.0	-
	R5	202,086	20,674	10,616	3,129	6,929	10.2%	19,000	9.4%	39,674	19.6%	31.8	-
	R6	207,538	20,625	10,437	3,523	6,665	9.9%	20,359	9.8%	40,984	19.7%	33.0	-
	R7	集計中											

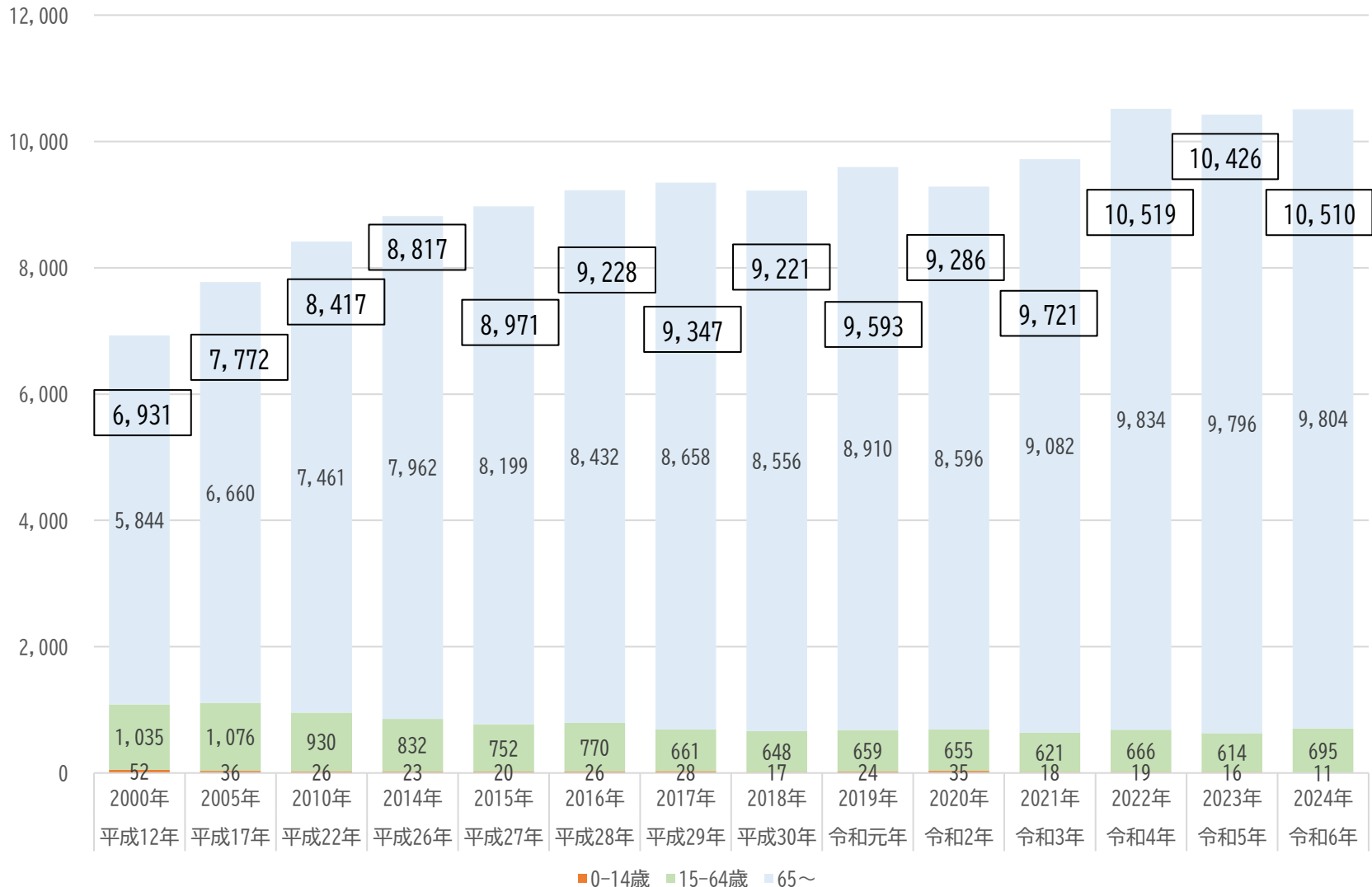
出典:都道府県における死因究明等の体制等に関する参考資料(厚生労働省)

※その他解剖には、監察医制度のある都府県が行う行政解剖や公衆衛生の向上を目的とした承諾解剖を含む。

⇒ 例年、解剖又は死亡時画像診断実施率は全国平均以上

福井県の死亡者数の推移

- ・令和6年の死亡者総数は10,510人であり、平成12年と比較すると、約3,500人増加している。
- ・年齢階層別では、65歳以上の割合が増加しており、64歳以下の死亡者数は、年々減少の傾向にある。



出典:各年人口動態統計 中巻 死亡 第3表 死亡数, 都道府県(特別区-指定都市再掲)・年齢(5歳階級)・性別

死因分類別 死亡数・構成割合・死亡率(全国／福井県)

- ・人口10万人あたりの死亡数（粗死亡率）は、全国1,334.5人に対し、本県は1,457.7人と約10%高い。
- ・死因の構成比率を全国と比較すると、本県では「病死・自然死」の割合が低く、「外因死」の割合が高い。
- ・なお、「特殊目的用コード」には、新型コロナウイルス感染症による死者が含まれている。

令和6年（2024年） 死因別死亡数、構成割合、死亡率

(単位：人)

死因	全国				福井県（総計）			
	死亡数	死亡総数に 占める割合 (%)	死亡率 (人口10万人対)		死亡数	死亡総数に 占める割合 (%)	死亡率 (人口10万人対)	
			人口	120,296,000			人口	721,000
全死因	1,605,378	100.00%	1,334.5		10,510	100.00%	1,457.7	
病死、自然死	1,494,825	93.11%	1,242.6		9,725	92.53%	1,348.8	
外因死	74,680	4.65%	62.1		552	5.25%	76.6	
特殊目的用コード <small>※原因不明の新たな疾患または エマージェンシーコードの暫定分類</small>	35,873	2.23%	29.8		233	2.22%	32.3	

※死亡率 「人口10万人のうち何人死亡したか」で表現される。

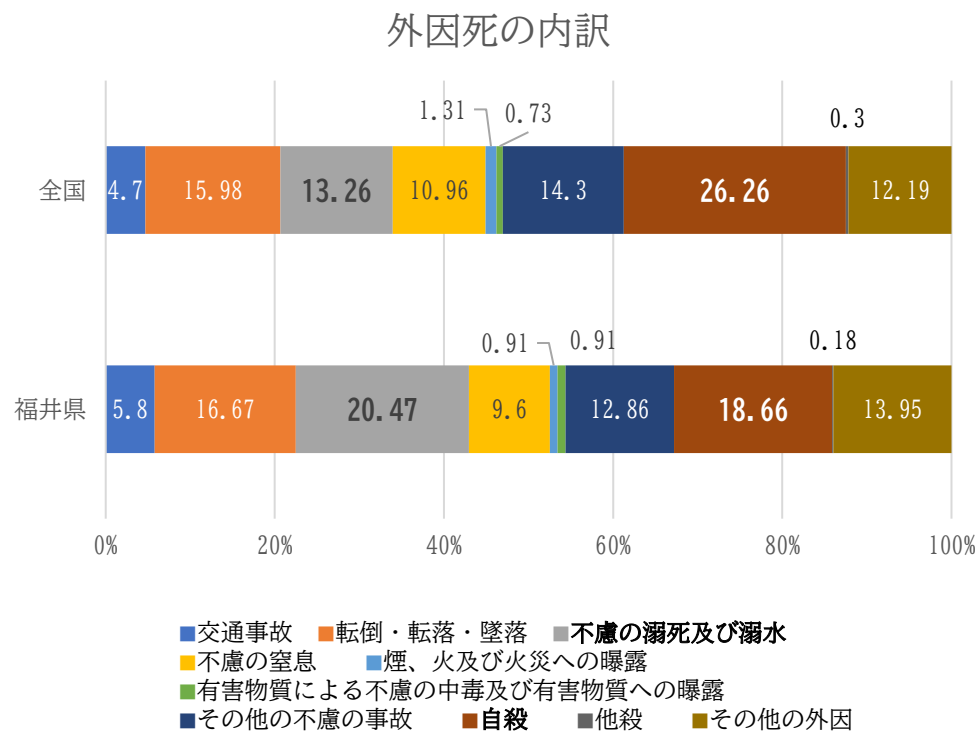
2024年の各死亡率 = 2024年に各死因により死亡した日本人の数 / 2024年の日本人人口 × 100,000。

出典:令和6年人口動態統計 上巻 死亡 第5.19表 死因(死因簡単分類)別にみた都道府県(特別区-指定都市再掲)別死亡率(人口10万対)

令和6年人口動態統計 下巻 死亡 第4表 死亡数、死因(死因簡単分類)・性・都道府県(特別区-指定都市再掲)別

死因分類別 死亡数・構成割合(外因死の内訳)

・外因死の内訳を比較すると、福井県では「不慮の溺死及び溺水」が多く、「自殺」が少ない。



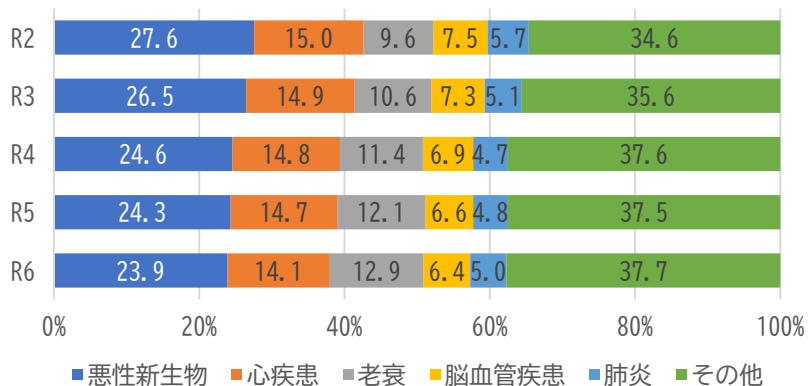
外因死の内訳	全国		福井県	
	死亡数	割合	死亡数	割合
外因死	74,680人	100.00%	552人	100.00%
交通事故	3,511人	4.70%	32人	5.80%
転倒・転落・墜落	11,935人	15.98%	92人	16.67%
不慮の溺死及び溺水	9,905人	13.26%	113人	20.47%
不慮の窒息	8,186人	10.96%	53人	9.60%
煙、火及び火災への曝露	982人	1.31%	5人	0.91%
有害物質による不慮の中毒 および有害物質への曝露	543人	0.73%	5人	0.91%
その他の不慮の事故	10,681人	14.30%	71人	12.86%
自殺	19,608人	26.26%	103人	18.66%
他殺	222人	0.30%	1人	0.18%
その他の外因	9,107人	12.19%	77人	13.95%

出典:令和6年人口動態統計 上巻 死亡 第5.19表 死因(死因簡単分類)別にみた都道府県(特別区-指定都市再掲)別死亡率(人口10万対)
令和6年人口動態統計 下巻 死亡 第4表 死亡数、死因(死因簡単分類)・性・都道府県(特別区-指定都市再掲)別

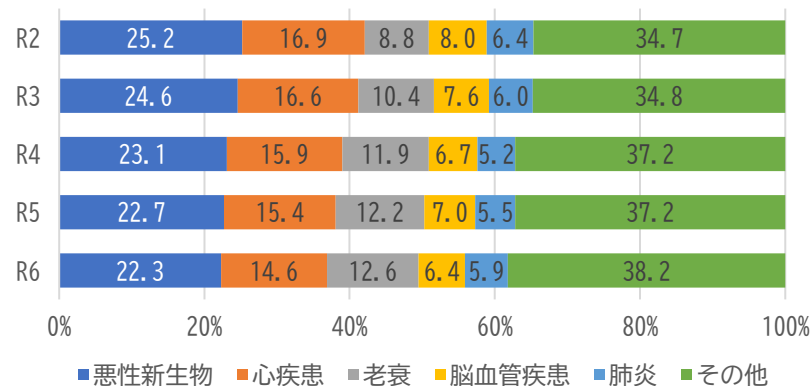
死亡割合・死因順位別年次推移(全国・福井)

近年、疾患を原因とした死亡割合は減少傾向にあるが、老衰が上昇傾向にある。

全国における死亡割合の推移



福井県における死亡割合の推移



死亡割合・死亡順位別年次推移(全国)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合
20 令和2	悪性新生物〈腫瘍〉	27.6	心疾患	15.0	老衰	9.6	脳血管疾患	7.5	肺炎	5.7
21 令和3	悪性新生物〈腫瘍〉	26.5	心疾患	14.9	老衰	10.6	脳血管疾患	7.3	肺炎	5.1
22 令和4	悪性新生物〈腫瘍〉	24.6	心疾患	14.8	老衰	11.4	脳血管疾患	6.9	肺炎	4.7
23 令和5	悪性新生物〈腫瘍〉	24.3	心疾患	14.7	老衰	12.1	脳血管疾患	6.6	肺炎	4.8
24 令和6	悪性新生物〈腫瘍〉	23.9	心疾患	14.1	老衰	12.9	脳血管疾患	6.4	肺炎	5.0

死亡割合・死亡順位年次別推移(福井県)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合	死因	死亡割合
20 令和2	悪性新生物〈腫瘍〉	25.2	心疾患	16.9	老衰	8.8	脳血管疾患	8.0	肺炎	6.4
21 令和3	悪性新生物〈腫瘍〉	24.6	心疾患	16.6	老衰	10.4	脳血管疾患	7.6	肺炎	6.0
22 令和4	悪性新生物〈腫瘍〉	23.1	心疾患	15.9	老衰	11.9	脳血管疾患	6.7	肺炎	5.2
23 令和5	悪性新生物〈腫瘍〉	22.7	心疾患	15.4	老衰	12.2	脳血管疾患	7.0	肺炎	5.5
24 令和6	悪性新生物〈腫瘍〉	22.3	心疾患	14.6	老衰	12.6	脳血管疾患	6.4	肺炎	5.9

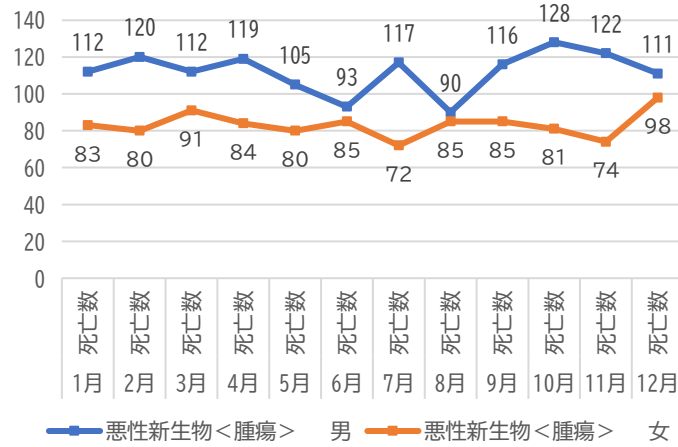
主要死因の月別の死亡数・死亡割合 性別(福井県)

- ・男性は「悪性新生物」、「肺炎」において、女性では「心疾患」、「老衰」、「脳血管疾患」で死亡者数が多い。
- ・悪性新生物を除く死亡原因において、12月～2月に死亡者数が多くなる傾向がみられる。

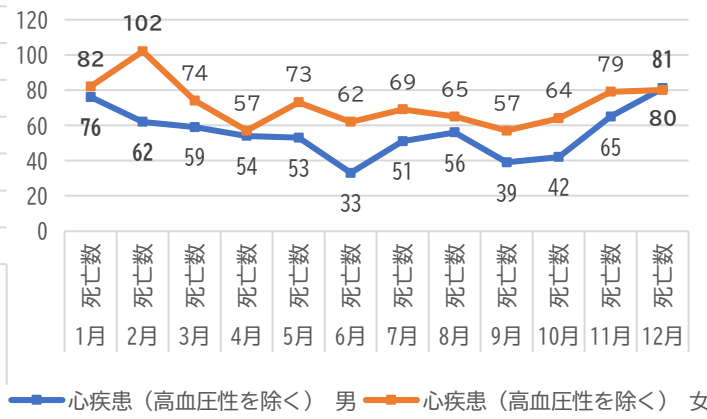
福井県の死亡数

	総数	男		女	
		死亡数	割合	死亡数	割合
悪性新生物<腫瘍>	2,343	1,345	57.4%	998	42.6%
心疾患(高血圧性を除く)	1,535	671	43.7%	864	56.3%
老衰	1,321	365	27.6%	956	72.4%
脳血管疾患	673	315	46.8%	358	53.2%
肺炎	621	354	57.0%	267	43.0%

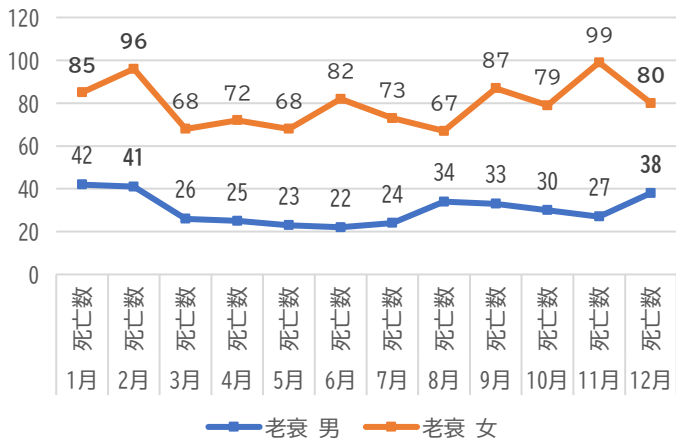
悪性新生物(腫瘍)の月別死亡数



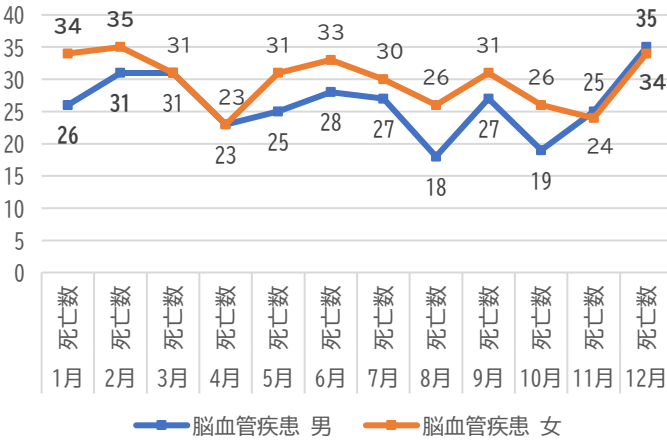
心疾患(高血圧性を除く)の月別死亡数



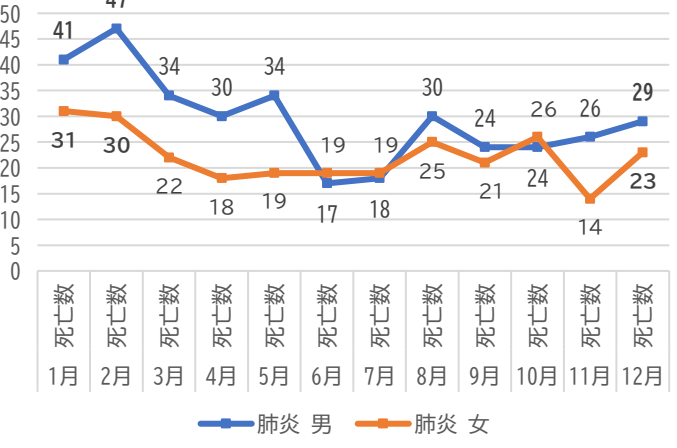
老衰の月別死亡数



脳血管疾患の月別死亡数



肺炎の月別死亡数



年齢階級別の死亡順位・死亡数・死亡割合(福井県)

- ・15歳～34歳までの年齢層での死因の1位は「自殺」であり、死因の約4割を占める。
- ・35歳以上からは、「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」の死因に占める割合が増加する。
- ・90歳以上では、「老衰」が多い。

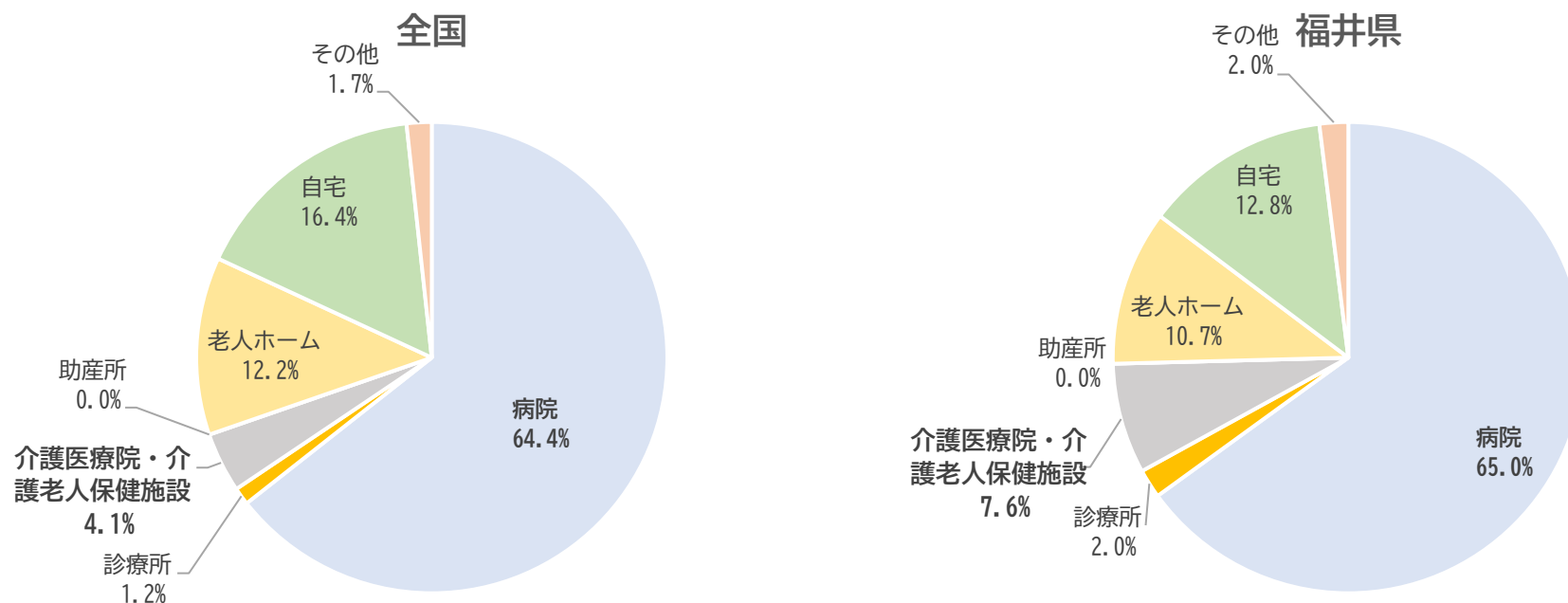
	第1位			第2位			第3位			死亡総数
	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	
総数	悪性新生物<腫瘍>	2,343	22.3%	心疾患(高血圧性を除く)	1,535	14.6%	老衰	1,321	12.6%	10,510
0～14歳	心疾患(高血圧性を除く)	2	18.2%	その他の先天奇形及び変形	2	18.2%				11
15～19歳	自殺	3	33.3%							9
20～24歳	自殺	6	54.5%							11
25～29歳	自殺	7	53.8%	その他の神経系の疾患	2	15.4%				13
30～34歳	自殺	3	23.1%	心疾患(高血圧性を除く)	3	23.1%	悪性新生物<腫瘍>	2	15.4%	13
35～39歳	悪性新生物<腫瘍>	8	32.0%	自殺	4	16.0%	その他の神経系の疾患	3	12.0%	25
40～44歳	悪性新生物<腫瘍>	11	27.5%	自殺	7	17.5%	脳血管疾患	5	12.5%	40
45～49歳	悪性新生物<腫瘍>	26	36.6%	自殺	11	15.5%	心疾患(高血圧性を除く)	7	9.9%	71
50～54歳	悪性新生物<腫瘍>	39	31.7%	自殺	17	13.8%	心疾患(高血圧性を除く)	14	11.4%	123
55～59歳	悪性新生物<腫瘍>	58	36.3%	心疾患(高血圧性を除く)	20	12.5%	脳血管疾患	14	8.8%	160
60～64歳	悪性新生物<腫瘍>	98	42.6%	心疾患(高血圧性を除く)	21	9.1%	脳血管疾患	14	6.1%	230
65～69歳	悪性新生物<腫瘍>	151	41.1%	心疾患(高血圧性を除く)	44	12.0%	脳血管疾患	26	7.1%	367
70～74歳	悪性新生物<腫瘍>	310	40.0%	心疾患(高血圧性を除く)	76	9.8%	その他の呼吸器系の疾患	43	5.5%	775
75～79歳	悪性新生物<腫瘍>	387	37.0%	心疾患(高血圧性を除く)	118	11.3%	その他の呼吸器系の疾患	95	9.1%	1,047
80～84歳	悪性新生物<腫瘍>	417	26.2%	心疾患(高血圧性を除く)	205	12.9%	その他の呼吸器系の疾患	134	8.4%	1,594
85～89歳	悪性新生物<腫瘍>	431	20.8%	心疾患(高血圧性を除く)	308	14.9%	老衰	244	11.8%	2,069
90～94歳	老衰	457	19.7%	心疾患(高血圧性を除く)	395	17.1%	悪性新生物<腫瘍>	308	13.3%	2,315
95～99歳	老衰	343	25.8%	心疾患(高血圧性を除く)	273	20.5%	その他の呼吸器系の疾患	96	7.2%	1,331
100歳以上	老衰	125	40.8%	心疾患(高血圧性を除く)	46	15.0%	肺炎	20	6.5%	306

※その他の呼吸器系の疾患には、誤嚥性肺炎、間質性肺疾患等が含まれる。

出典:令和6年人口動態統計 統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-18(福井県) 死亡数, 都道府県(特別区-指定都市再掲)・死亡月・死因(死因簡単分類)・性・年齢(5歳階級)別

死亡場所(全国／福井県)

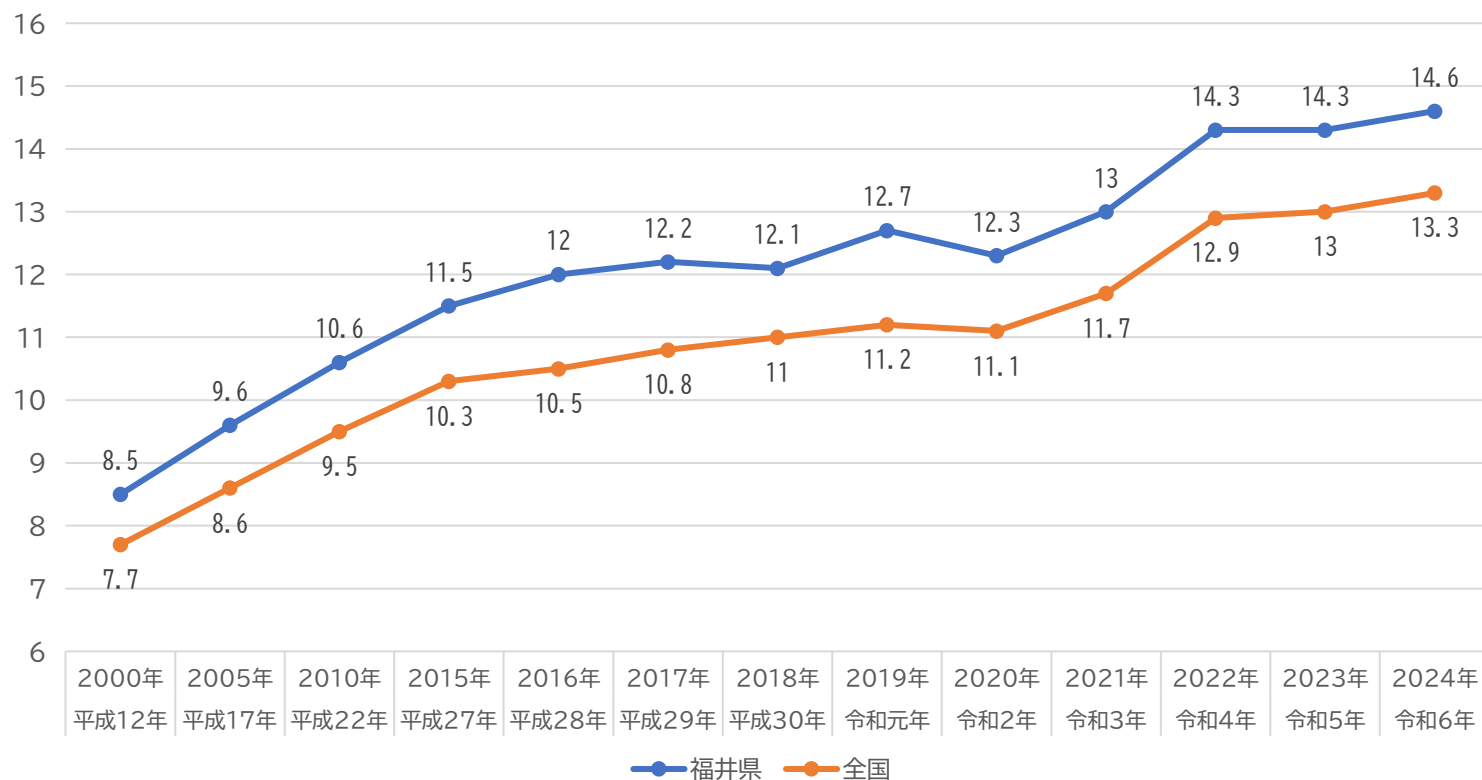
- ・死亡した場所は、全国、本県ともに「病院」が最も多く、次いで「自宅」、「老人ホーム」となっている。
- ・本県では「病院」「診療所」「介護医療院等」が全体の74.6%を占めており、全国(69.7%)よりも約5%高く、「老人ホーム」「自宅」の割合は23.5%で、全国(28.6%)よりも低い。



出典:令和6年人口動態統計 上巻 死亡 第5.7表 死亡の場所別にみた都道府県(特別区-指定都市再掲)別死亡数

粗死亡率の年次推移(全国／福井県)

- ・粗死亡率は上昇傾向にある中、本県は全国よりも約1ポイント高い水準で推移している。
- ・令和6年は、全国13.3、福井県14.6

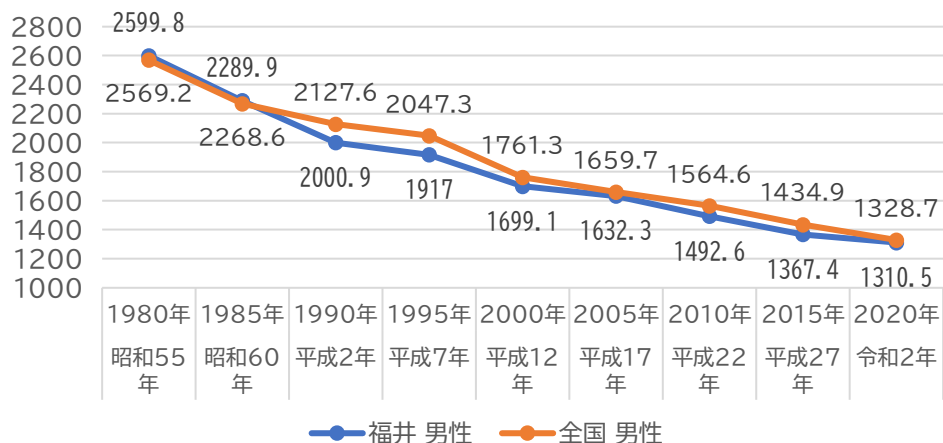


※粗死亡率 一定期間の死亡数を単純にその期間の人口で割った死亡率。年齢調整をしておらず、高齢者が多い地域では高くなる傾向がある。
本調査では、「人口1千人のうち何人死亡したか」で表現される。
2024年の粗死亡率 = 2024年に死亡した人の数 / 2024年の人口 × 1000。

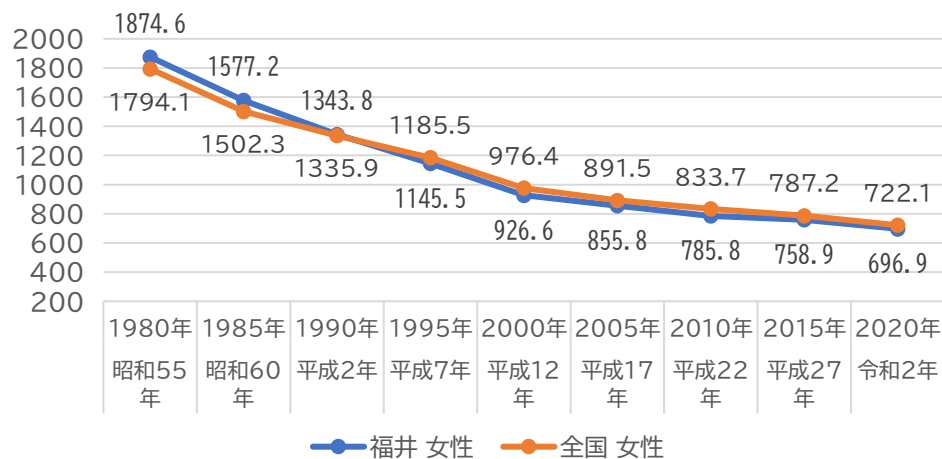
年齢調整死亡率(全国／福井県)

・昭和55年から令和2年まで、男女ともに、全国とほぼ同水準で推移。

年齢調整死亡率(男性)の年次推移



年齢調整死亡率(女性)の年次推移



出典:人口動態特殊報告 令和2年(平成27～昭和55年) 都道府県別年齢調整死亡率(平成27年モデル人口)
表1 都道府県別年齢調整死亡率・年齢階級別死亡率(人口10万人対),全死因,男女別

※年齢調整死亡率 集団全体の死亡率を、基準となる集団の年齢構成(基準人口)に合わせた形で求められる。(人口10万人当たり)

$$\{[\text{観察集団の各年齢(年齢階級)の死亡率}] \times [\text{基準人口集団のその年齢(年齢階級)の人口}]\} \text{の各年齢(年齢階級)の総和} / \text{基準人口集団の総人口}$$

参考情報

死因分類別 死亡数・構成割合・死亡率(全国／福井県)

令和6年(2024年) 死因別死亡数、構成割合、死亡率

(単位:人)

死因	全国				福井県(総計)			
	死亡数	死亡総数に占める割合(%)	死亡率(人口10万人対)		死亡数	死亡総数に占める割合(%)	死亡率(人口10万人対)	
			人口	120,296,000			人口	721,000
全死因	1,605,378	100.00%	1,334.5		10,510	100.00%	1,457.7	
病死、自然死	1,494,825	93.11%	1,242.6		9,725	92.53%	1,348.8	
外因死	74,680	4.65%	62.1		552	5.25%	76.6	
不慮の事故	45,743	2.85%	38.0		371	3.53%	51.5	
交通事故	3,511	0.22%	2.9		32	0.30%	4.4	
転倒・転落・墜落	11,935	0.74%	9.9		92	0.88%	12.8	
不慮の溺死及び溺水	9,905	0.62%	8.2		113	1.08%	15.7	
不慮の窒息	8,186	0.51%	6.8		53	0.50%	7.4	
煙、火及び火災への曝露	982	0.06%	0.8		5	0.05%	0.7	
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	543	0.03%	0.5		5	0.05%	0.7	
その他の不慮の事故	10,681	0.67%	8.9		71	0.68%	9.8	
自殺	19,608	1.22%	16.3		103	0.98%	14.3	
他殺	222	0.01%	0.2		1	0.01%	0.1	
その他の外因	9,107	0.57%	7.6		77	0.73%	10.7	
特殊目的用コード <small>※原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類</small>	35,873	2.23%	29.8		233	2.22%	32.3	

※死亡率「人口10万人のうち何人死亡したか」で表現される。

2024年の各死亡率= 2024年に各死因により死亡した日本人の数/2024年の日本人人口 × 100,000。

出典:令和6年人口動態統計 上巻 死亡 第5.19表 死因(死因简单分類)別にみた都道府県(特別区-指定都市再掲)別死亡率(人口10万対)

令和6年人口動態統計 下巻 死亡 第4表 死亡数、死因(死因简单分類)・性・都道府県(特別区-指定都市再掲)別

主な死因の月別の死亡数・死亡割合 性別(福井県)

福井県		総数	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
		死亡数	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合	死亡数	割合
総計	総数	10,510	1,015	9.7%	1,037	9.9%	938	8.9%	803	7.6%	811	7.7%	772	7.3%	806	7.7%	816	7.8%	822	7.8%	831	7.9%	868	8.3%	991	9.4%
悪性新生物 <腫瘍>	総数	2,343	195	8.3%	200	8.5%	203	8.7%	203	8.7%	185	7.9%	178	7.6%	189	8.1%	175	7.5%	201	8.6%	209	8.9%	196	8.4%	209	8.9%
	男	1,345	112	8.3%	120	8.9%	112	8.3%	119	8.8%	105	7.8%	93	6.9%	117	8.7%	90	6.7%	116	8.6%	128	9.5%	122	9.1%	111	8.3%
	女	998	83	8.3%	80	8.0%	91	9.1%	84	8.4%	80	8.0%	85	8.5%	72	7.2%	85	8.5%	85	8.5%	81	8.1%	74	7.4%	98	9.8%
心疾患(高 血圧性を除 く)	総数	1,535	158	10.3%	164	10.7%	133	8.7%	111	7.2%	126	8.2%	95	6.2%	120	7.8%	121	7.9%	96	6.3%	106	6.9%	144	9.4%	161	10.5%
	男	671	76	11.3%	62	9.2%	59	8.8%	54	8.0%	53	7.9%	33	4.9%	51	7.6%	56	8.3%	39	5.8%	42	6.3%	65	9.7%	81	12.1%
	女	864	82	9.5%	102	11.8%	74	8.6%	57	6.6%	73	8.4%	62	7.2%	69	8.0%	65	7.5%	57	6.6%	64	7.4%	79	9.1%	80	9.3%
老衰	総数	1,321	127	9.6%	137	10.4%	94	7.1%	97	7.3%	91	6.9%	104	7.9%	97	7.3%	101	7.6%	120	9.1%	109	8.3%	126	9.5%	118	8.9%
	男	365	42	11.5%	41	11.2%	26	7.1%	25	6.8%	23	6.3%	22	6.0%	24	6.6%	34	9.3%	33	9.0%	30	8.2%	27	7.4%	38	10.4%
	女	956	85	8.9%	96	10.0%	68	7.1%	72	7.5%	68	7.1%	82	8.6%	73	7.6%	67	7.0%	87	9.1%	79	8.3%	99	10.4%	80	8.4%
脳血管疾患	総数	673	60	8.9%	66	9.8%	62	9.2%	46	6.8%	56	8.3%	61	9.1%	57	8.5%	44	6.5%	58	8.6%	45	6.7%	49	7.3%	69	10.3%
	男	315	26	8.3%	31	9.8%	31	9.8%	23	7.3%	25	7.9%	28	8.9%	27	8.6%	18	5.7%	27	8.6%	19	6.0%	25	7.9%	35	11.1%
	女	358	34	9.5%	35	9.8%	31	8.7%	23	6.4%	31	8.7%	33	9.2%	30	8.4%	26	7.3%	31	8.7%	26	7.3%	24	6.7%	34	9.5%
肺炎	総数	621	72	11.6%	77	12.4%	56	9.0%	48	7.7%	53	8.5%	36	5.8%	37	6.0%	55	8.9%	45	7.2%	50	8.1%	40	6.4%	52	8.4%
	男	354	41	11.6%	47	13.3%	34	9.6%	30	8.5%	34	9.6%	17	4.8%	18	5.1%	30	8.5%	24	6.8%	24	6.8%	26	7.3%	29	8.2%
	女	267	31	11.6%	30	11.2%	22	8.2%	18	6.7%	19	7.1%	19	7.1%	19	7.1%	25	9.4%	21	7.9%	26	9.7%	14	5.2%	23	8.6%
その他の呼 吸器系の疾 患	総数	776	93	12.0%	74	9.5%	77	9.9%	53	6.8%	59	7.6%	68	8.8%	58	7.5%	53	6.8%	48	6.2%	68	8.8%	59	7.6%	66	8.5%
	男	465	63	13.5%	42	9.0%	48	10.3%	32	6.9%	38	8.2%	37	8.0%	42	9.0%	31	6.7%	24	5.2%	38	8.2%	35	7.5%	35	7.5%
	女	311	30	9.6%	32	10.3%	29	9.3%	21	6.8%	21	6.8%	31	10.0%	16	5.1%	22	7.1%	24	7.7%	30	9.6%	24	7.7%	31	10.0%
自殺	総数	103	8	7.8%	16	15.5%	9	8.7%	8	7.8%	5	4.9%	7	6.8%	10	9.7%	10	9.7%	12	11.7%	7	6.8%	7	6.8%	4	3.9%
	男	70	5	7.1%	9	12.9%	6	8.6%	6	8.6%	4	5.7%	7	10.0%	6	8.6%	6	8.6%	9	12.9%	3	4.3%	6	8.6%	3	4.3%
	女	33	3	9.1%	7	21.2%	3	9.1%	2	6.1%	1	3.0%	-	-	4	12.1%	4	12.1%	3	9.1%	4	12.1%	1	3.0%	1	3.0%